

**学生の動きだしは、2014年度よりも、遅い傾向。
 現在の学生の活動内容は「自己分析」、「学内ガイダンス参加」。
 企業は、昨年よりも「母集団形成」に向けた活動に注力。**

－ 「[en]学生の就職情報」 2015年度就職・採用活動 11月度調査報告 －

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営する、学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』（<http://gakusei.enjapan.com/>）は、2015年3月卒業予定の学生と求人企業を対象に、『2015年度新卒採用 就職・採用活動アンケート』を実施いたしました。以下、概要をご報告いたします。

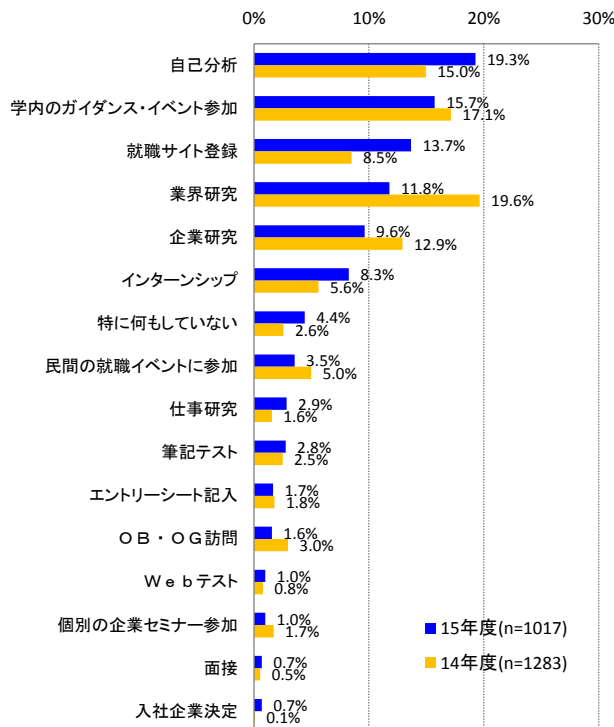
■ 調査結果概要

**1：現在、最も多くの学生が取り組んでいる活動内容は「自己分析」。
 2014年度に比べ、学生の動きだしは遅い傾向。（図1～3）**

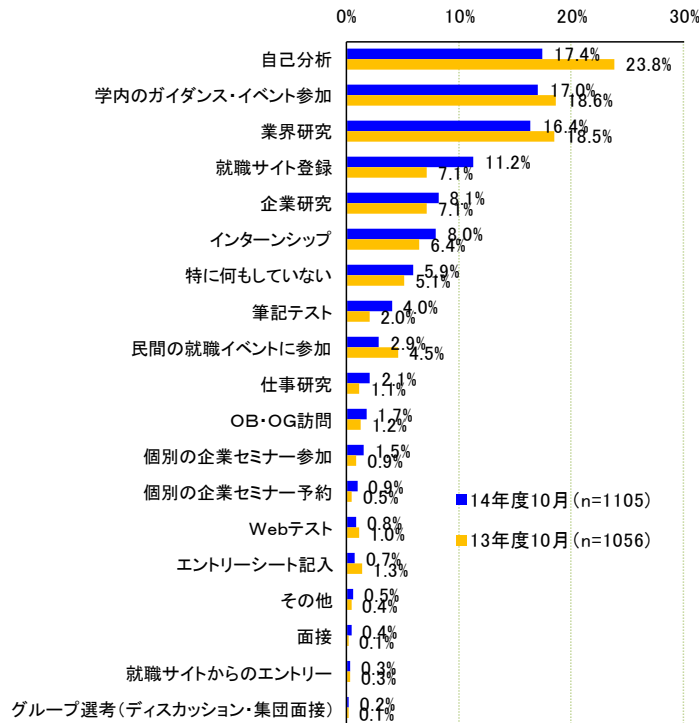
現在、最も多くの学生が取り組んでいる活動内容は「自己分析」（19.3%）でした。次いで、「学内のガイダンス参加」（15.7%）、「就職サイト登録」（13.7%）となっています。

2014年度をみると、「自己分析」「学内ガイダンス参加」と回答した学生の割合は、10月が最も高くなっています。また、2014年度11月は「業界研究」に取り組む学生が最多となっており、昨年に比べ学生の動きだしは遅くなっているようです。

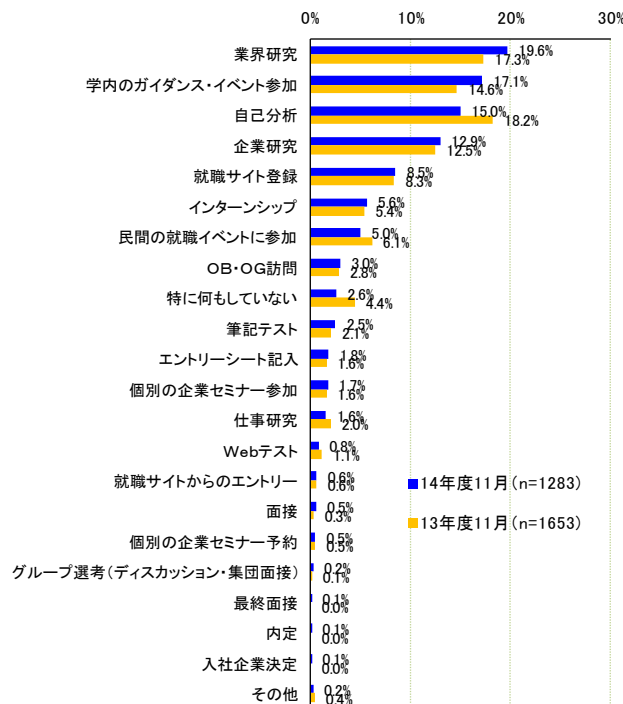
【図1】現在の活動内容（15年度、前年比）



【図2】 2014年度10月の学生の活動内容（前年比）



【図3】 2014年度11月の活動内容（前年比）

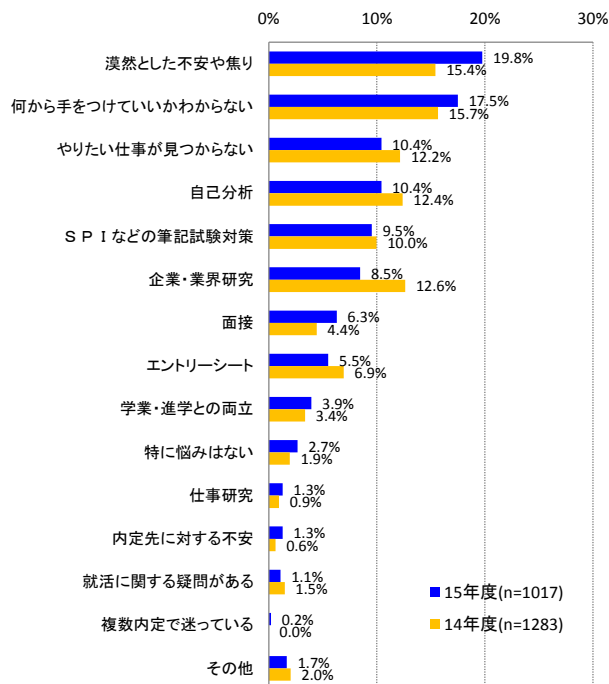


**2：学生の現在の悩みは、
 「漠然とした不安や焦り」、「何から手をつけていいかわからない」が上位。
 (図4、学生の声)**

学生の現在の悩みは、昨年と同様に「漠然とした不安や焦り」(19.8%)、「何から手をつけていいかわからない」(17.5%)が上位となりました。

昨年に比べ、これらに悩みを持つ学生の割合は高くなった一方、「自己分析」(10.4%)、「SPIなどの筆記試験対策」(9.5%)、「企業・業界研究」(8.5%)といった具体的な活動に対する悩みをあげた学生の割合は低くなっています。昨年よりも、学生の動きだしが遅くなっていることが影響しているためと考えられます。

【図4】現在の悩み（前年比）



【学生の声】現在の悩み（理由）

<漠然とした不安や焦り>

- ・志望している企業に自分が適しているかわからないから。(理系/男性)
- ・やったことがないことだし、就活が始まるという実感がなくて、これからどうなるのか不安です。(文系/女性)
- ・自分の就活の進め方が正しいのかわからない。色々と就活の進め方の情報を見ても、何かしっくり来ず、何となく進めているので。(文系/男性)

<何から手をつけていいかわからない>

- ・やるべきことが多すぎて何から手を付ければいいのかかわからない。もっと早めに準備をしておけばよかった。(文系/男性)
- ・10月まで特に何もしていなかったので、何から初めていいのか悩んでいる為。(理系/女性)

<やりたい仕事が見つからない>

- ・自分にながができるのか分からず、仕事に関して興味が薄い。(文系/男性)

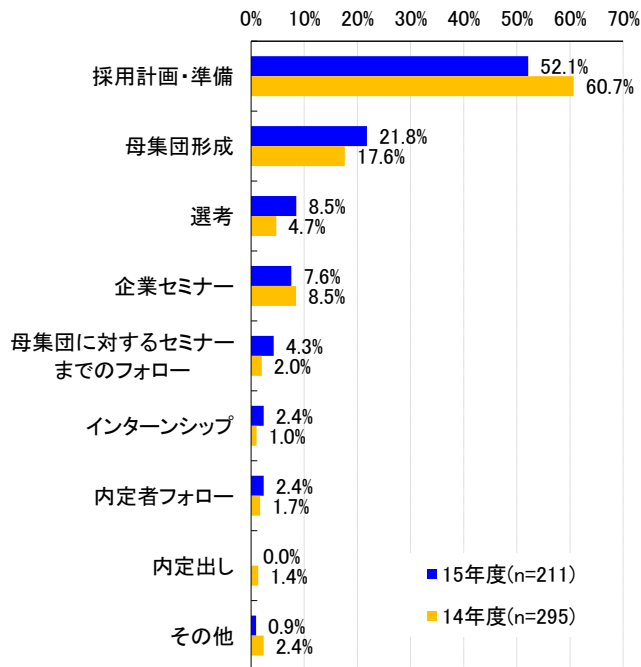
<自己分析>

- ・自己分析の活かし方がわからない。(文系/男性)

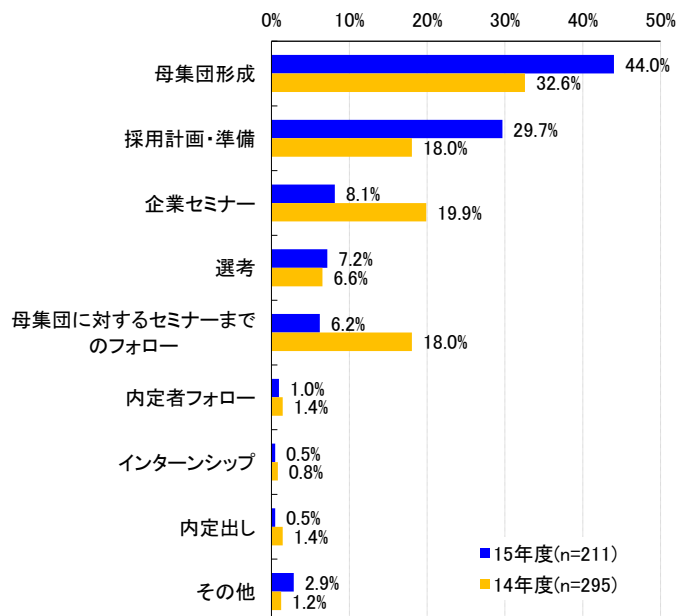
3：企業は、昨年よりも「母集団形成」に向けた活動に注力。（図5、6）

現在、企業が取り組んでいる活動内容は、「採用計画・準備」（52.1%）が最多となりました。昨年と比較をすると、現在の活動内容、来月の活動予定いずれも「母集団形成」と回答した企業の割合が高くなっています。多くの企業が母集団形成に向けた活動に注力しているようです。

【図5】現在の活動内容（前年比）



【図6】来月の活動予定（前年比）

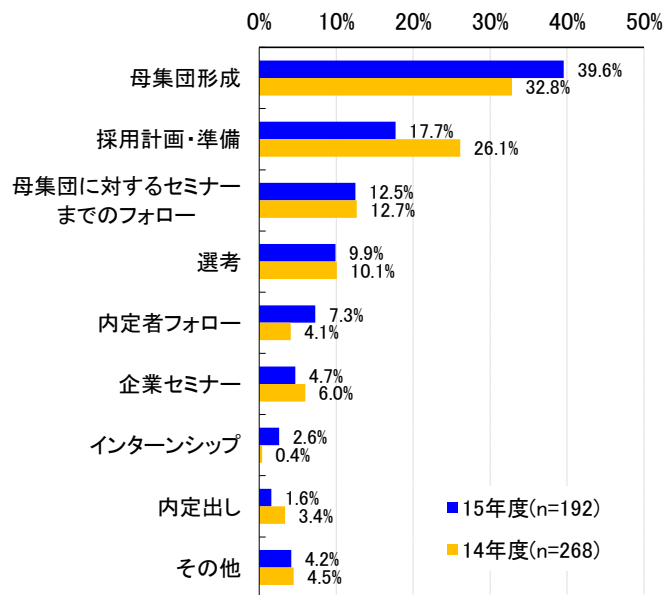


4：「母集団形成」を悩みにあげる企業の割合が、前年に比べ増加。（図7、企業の声）

企業の現在の悩みは、「母集団形成」（39.6%）が最多となりました。

「2014年度が初期の母集団形成に失敗したため、2015年度は初期の母集団形成に全力を注ぐ」、「景気の影響を受け、各企業の採用意欲が2014年度以上に高まることが予想される」などの理由から、昨年に比べ「母集団形成」を悩みにあげる企業の割合が高くなっています。

【図7】現在の悩み（前年比）



【企業の声】現在の悩み（理由）

<母集団形成>

- ・2014年度が初期の母集団形成に失敗し、前年対比半減してしまっただけで、後半戦の学生の質も低下。その為2015年度は初期の良質の母集団形成に全力を注ぎます。（サービス/300名未満/関東）
- ・やや景気がよくなりつつある為、各企業の採用意欲が今年以上に高まることが予想されるから。（メーカー/300名未満/東海）

<採用計画・準備>

- ・企業セミナーの開始時期-2014年度よりも早める予定にしているが、いつごろから始めるのがよいのか？（情報・通信/300名未満/関東）
- ・現在も2014の採用活動を継続中。マンパワーの不足から2015の採用活動に移れていないため。（流通・小売/300名未満/関東）

<母集団に対するセミナーまでのフォロー>

- ・エントリーされた後のセミナー参加率の低下が見られるため。（商社/300名未満/関東）

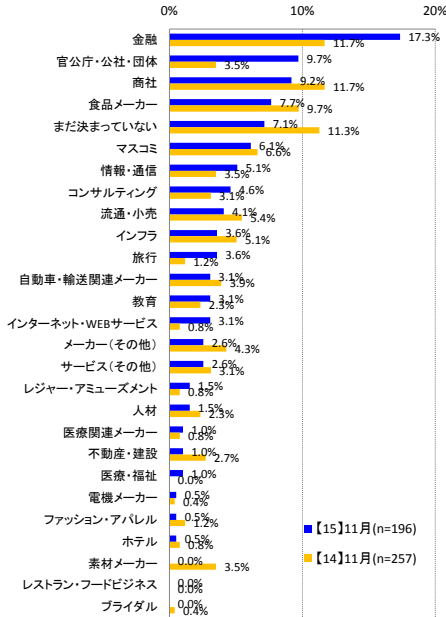
<選考>

- ・こちらの期待する人物像にマッチするかどうか見極めるための選考方法がよく分からない。（情報・通信/300名未満/関東）

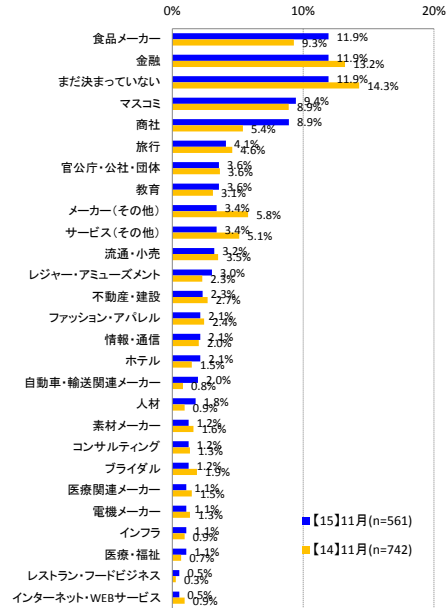
5：志望業界は、文系男性が「金融」、女性、理系男性が「食品メーカー」。(図8～11)

志望業界について聞いたところ、文系男性は「金融」、女性、理系男性は「食品メーカー」と回答の方が最も多くなりました。次いで、文系男性では「官公庁・公社・団体」、文系女性では「金融」、理系男性では「インフラ」、理系女性では「まだ決まっていない」となっています。

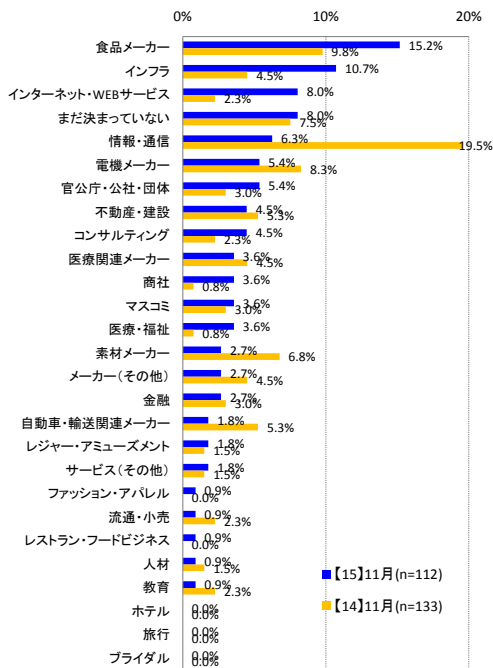
【図8】11月時点の志望業界（文系男性）



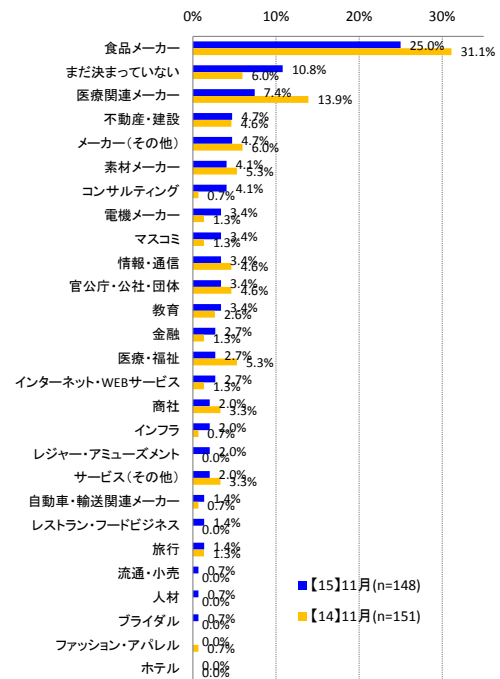
【図9】11月時点の志望業界（文系女性）



【図10】11月時点の志望業界（理系男性）



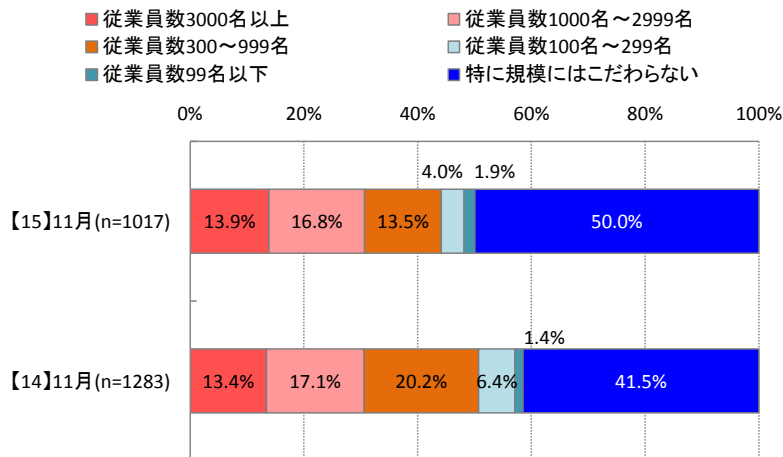
【図11】11月時点の志望業界（理系女性）



**6：志望する企業規模について、
 「特に規模はこだわらない」と回答した学生が過半数。(図12)**

志望する企業規模について聞いたところ、昨年に比べ「規模にはこだわらない」と回答した学生の割合が高く、50.0%となっています。昨年よりも企業規模で会社を選ぶ学生が減ったというよりは、現時点で企業研究や業界研究を行っている学生が少ないことが、志望する企業規模を絞り切れていないことに影響している様子がうかがえます。

【図12】 11月時点の志望する企業規模（前年比）

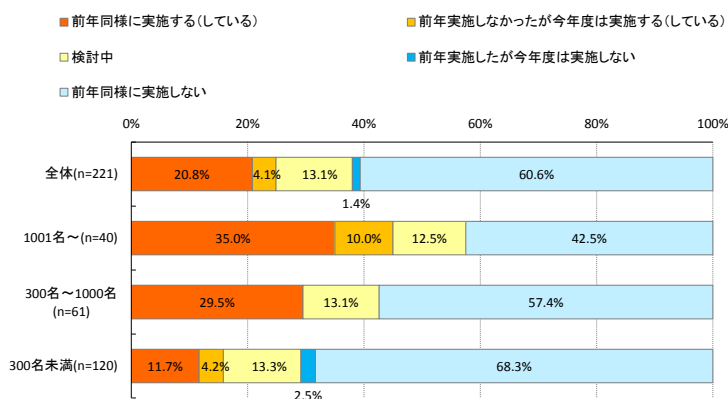


7：約25%の企業がインターンシップを実施。（図13、14）

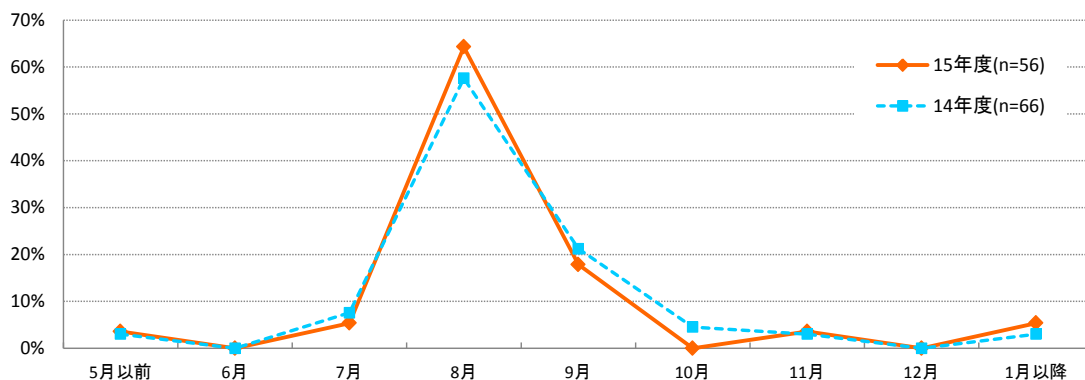
2015年度のインターンシップを「前年同様に実施する（している）」「前年実施しなかったが今年度は実施する（している）」と回答した企業は、24.9%でした。企業規模が大きいほど、インターンシップを実施している企業の割合が高くなっており、1,000名以上の企業では実施企業が40%を超えています。

また、インターンシップの実施時期については、14年度同様、8月下旬がピークとなっています。

【図13】 インターンシップの実施について（15年度11月調査）



【図14】 インターンシップの実施時期（前年比）



【調査概要】

「学生調査」

調査対象：「[en]学生の就職情報2015」に登録するモニター学生
 調査期間：2013年11月1日～11月11日
 調査方法：E-mailによるWeb投票画面の配信
 有効回答数：1017名

■男女

| 女性 | 男性 |
|-------|-------|
| 69.7% | 30.3% |

■文理

| 文系 | 理系 |
|-------|-------|
| 74.4% | 25.6% |

■学校区分1

| 四年制大学 | 大学院 | その他 |
|-------|-------|------|
| 86.4% | 11.3% | 2.3% |

■学校区分2

| 私立 | 国立 | 公立 | その他 |
|-------|-------|------|------|
| 76.9% | 18.2% | 4.4% | 0.5% |

■在籍地域

| 北海道 | 東北 | 関東 | 甲信越 | 東海・中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 海外 |
|------|------|-------|------|-------|-------|------|------|------|------|
| 1.9% | 2.4% | 54.9% | 1.4% | 10.2% | 23.9% | 1.9% | 0.8% | 2.5% | 0.3% |

「企業調査」

調査対象：【[en]学生の就職情報パートナーズNEWS】ご登録のご担当者様
 調査期間：2013年11月1日～11月11日
 調査方法：E-mailによるWeb投票画面の配信
 有効回答数：211件

| 東北・北海道 | 北陸 | 関東 | 甲信越 | 東海 | 四国 | 中国 | 近畿 | 九州・沖縄 |
|--------|------|-------|------|-------|------|------|-------|-------|
| 1.1% | 0.8% | 53.8% | 0.8% | 18.6% | 2.7% | 1.5% | 18.9% | 1.9% |

■企業規模

| 300名未満 | 300～1000名未満 | 1000～3000名未満 | 3000名以上 |
|--------|-------------|--------------|---------|
| 59.5% | 25.0% | 10.6% | 4.9% |

■業種区分

| メーカー | 商社 | 流通・小売 | 金融 | マスコミ | 情報・通信 | サービス | その他 |
|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|
| 27.7% | 11.7% | 11.0% | 2.3% | 2.7% | 18.9% | 15.9% | 9.8% |

【その他の調査項目】

※下記の結果に興味のある方は、広報までお問合せください。

「学生調査」

現在の活動内容（男女文理別）、志望職種、11月時点での志望する企業規模（男女文理別）、就職活動の準備として取り組んでいること

※この調査は一般財団法人エン人財教育センターから委託を受け、エン・ジャパンが実施しました。
 また、エン人財教育センターの許可をうけ、エン・ジャパンが発表を行っております。